

ICTを活用した授業

一人一台のタブレット端末が導入され、有効的な活用法を考えながら手探りで進めています。その一端を紹介します。

その1

音楽のリズムを作る授業において、タブレットを活用し、プログラミングソフトで4分音符や8分音符を組み合わせ、8小節のリズムを作り、グループのみんなでリズム打ちを楽しみました。

2年生という学年にとって、実際に音符を書く手間が省略され、イメージしたリズムを容易にプログラミングすることができました。イメージの合わない部分は、別のリズムに置き換えるなどして、自分の作りたいリズムを完成させました。また、完成したリズムはタブレットが模範を示してくれるので、それに合わせてみんなでリズム打ちを楽しんで練習することもできました。



写真は加工して掲載しています。



画像は加工して掲載しています。



画像は加工して掲載しています。

その2

体育の跳び箱において、模範演技を動画で見たり、互いの演技を動画撮影し、それを見ることで動きをチェックし、話し合ったりすることでより効果的な練習を行いました。

やみくもに何回も練習するのではなく、タブレットを活用したことでポイントを意識して練習したり、自分の演技を自分で見て、動きを改善したりすることができ、子どもたちも自分たちの演技に満足している様子でした。

月に1～2回ICTサポーターに来校いただき、その支援を受けながらタブレットをさまざま活用しながら、新しいスタイルの授業づくりに日々チャレンジしています。

確かに言えることは、「子どもたちの習得は大人より遙かに早い。」ということです。しかし、タブレット操作に夢中になりすぎて、学習内容について深く思考することがおろそかにならないようバランスを考えて使用することが大切です。その際、タブレットを活用することで子どもたちの学びが広がったり、深まったりしているのかということを常に検証しながらICTを活用した授業づくりを進めています。
